

給食週間だより

12月8日～12日は給食週間です。毎日食べている給食について、学びましょう！

令和7年12月8日
札幌市立藤野中学校

つるおかし

日本で最初に給食を始めたのは、山形県鶴岡市の小学校です。この学校を建てたお坊さんが、家が貧しくてお弁当を持って来られない子どもたちのために、昼食を出したのが始まりです。

明治22年



日本で一番最初の給食です。おにぎりや焼き魚、菜っ葉の漬け物などでした。

昭和21年



戦時中は中断していた給食が、再開されました。このことを記念して、全国で給食週間を行うようになりました。

昭和30年頃



パン、脱脂粉乳、おかずが基本の組み合わせでした。揚げパンが登場したのも、この頃です。

昭和45年頃



牛乳が登場し、食器はポリプロピレンに変わりました。クジラ肉もよく出ていました。

昭和52年頃



この頃から米飯の回数が増え、おかずの種類も増えていきました。牛乳はテトラパック(三角型)でした。

現在の給食



給食が始まった頃に比べると、バラエティ豊かになりました！

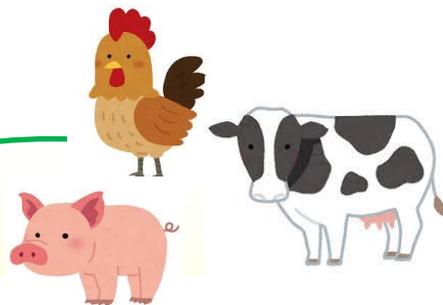


感謝して食べましょう！

みなさんの食べる給食は、たくさんの人たちが支えています。
感謝しながら食べましょう！



食材を運ぶ人



命をわけてくれる生き物たち



漁をする人



心をこめて
「いただきます」！



調理してくれる
調理員さん



野菜をつくる人



牧場で働く人



お米をつくる人

北海道を丸ごと食べよう！

給食週間中は、給食室の様子や北海道産の食べものを紹介します。お楽しみに！！

12/8(月)

『給食室の一日』動画放送
北海道産かぼちゃのスイートパンプキン

12/9(火)

『北海道のお米の歴史』動画放送
北海道産米のわかめごはん

12/10(水)

『北海道を食べよう！』動画放送
アイヌ料理『オハウ』

12/11(木)

『シチューができるまで』動画放送
北海道産乳製品のシチュー

12/12(金)

『札幌発！スープカレー』動画放送
根菜のスープカレー

